

1 調査目的

第7期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に当たり、高齢者の実態を把握し、高齢者の保健・福祉・生きがいづくりへの支援や介護予防事業、介護保険サービスの総合的な推進を図るための基礎資料を得るため。

2 調査対象

- (1) 高齢者実態調査 65歳以上の非認定者及び要支援1・2の高齢者 2,000人
- (2) 要介護認定者調査 要介護認定者及びその主な介護者 2,000人

3 調査期間

平成29年(2017年)2月23日(木)～3月8日(水)

4 調査方法

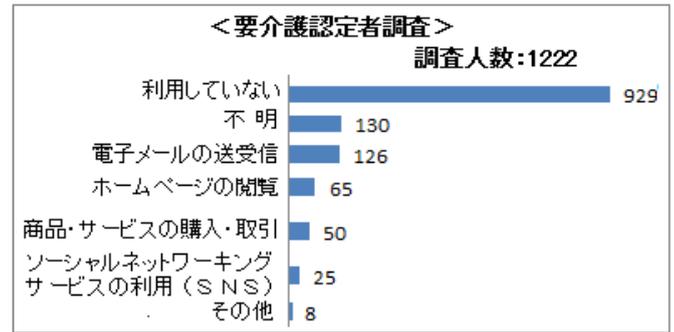
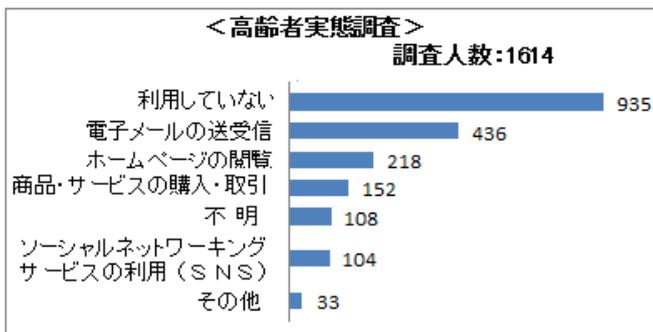
郵送による調査票の配付及び郵送による回収

5 回収結果

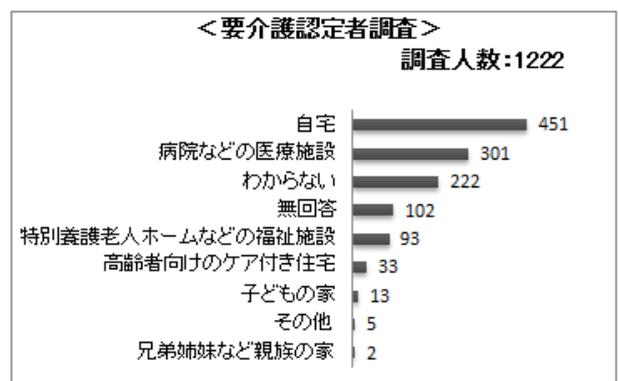
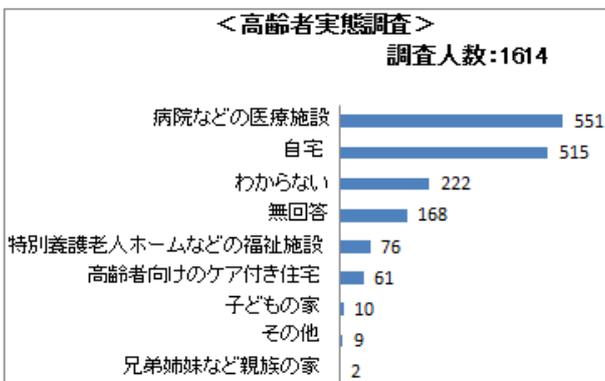
- (1) 高齢者実態調査 有効回答数 1,614人(80.8%)
- (2) 要介護認定者調査 有効回答数 1,222人(61.3%)

6 在宅医療・介護連携推進事業に関する調査結果(抜粋)

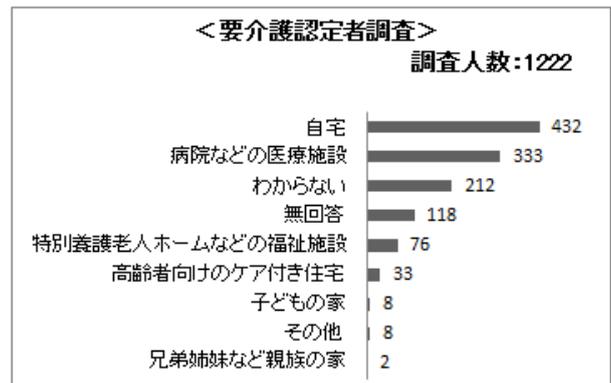
(1) インターネットやスマートフォン、携帯端末をどのように利用していますか。



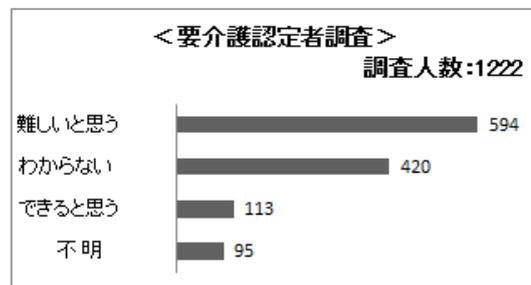
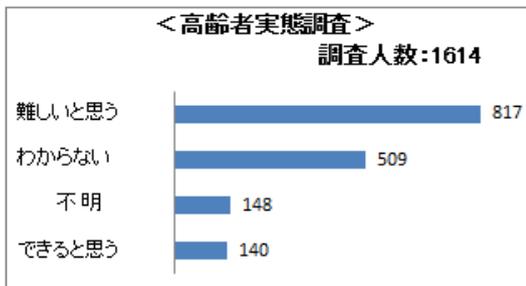
(2) 万一、あなたが治る見込みのない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。



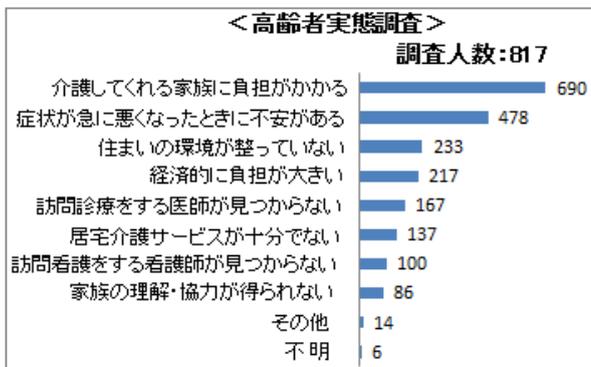
(3) 万一、あなたの身近な家族が治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えさせてあげたいですか。



(4) あなたは自宅で療養しながら、最期まで過ごすことができますか。



(4)-1 自宅療養が難しいと思う理由はなんですか。



(5) 人生の最終段階における医療についてお聞きします。ご自身の死が近づいた場合に受けたい医療や受けたくない医療について家族とどの位話し合ったことがありますか。

